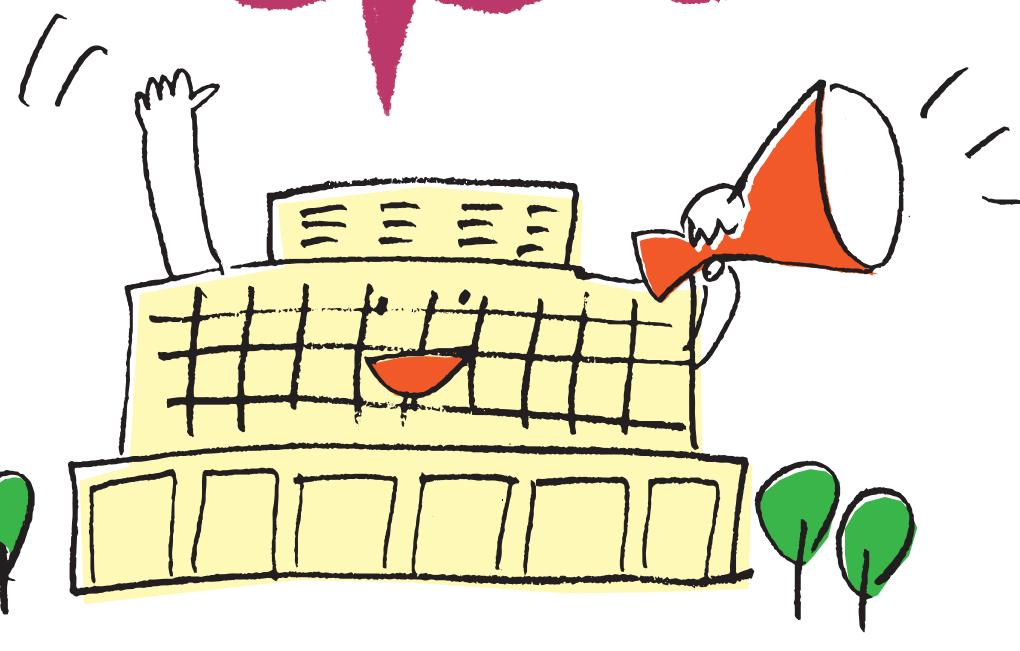


あれから10年 スペシャル

Part2

仙台市職員の震災体験を100年後の人たちへ



2021年

11/21(日)

10:00～18:00 (9:30 開場)

完全予約制オンライン開催・参加費 500円

「Peatix」よりお申込みください。
<https://aresupe10-part2.peatix.com>
【〆切 11/14 (日) 17時】



♦♦♦
仙台市職員の震災体験を
さまざまなカタチでお伝えします。
災害についてともに考え、
未来に備える1日に。

主催：あれスペ実行委員会 (Team Sendai／仙台市職員からみた震災記録チーム・市民有志) 共催：わしん俱楽部

後援：仙台市・(特非)防災士会みやぎ・(一社)フェーズフリー協会

協力：3.11オモイデアーカイブ・(特非)冒險あそび場 -せんだい・みやぎネットワーク

PROGRAM

(内容を予告なく変更する場合があります)

全国どこでも被災地となり得る中、コロナ禍で改めて問われる災害対応。東日本大震災発生から 10 年目の記憶の継承、そして未来の防災について、多彩なゲストの多角的な視点から問い合わせます。一緒に考えてみませんか。

PROGRAM

1

南蒲生浄化センターリモート見学

10:15 ~ 11:05

沿岸部に位置する南蒲生浄化センターは震災時、津波により壊滅的な被害を受けました。今回は、壁面が津波を受けて大きく凹んだ「第三ポンプ室」の見学や「津波避難棟」屋上への模擬避難をリモートで体験していただきます。また、同センターの震災メモリアル展示室に当時の所長石川敬二氏をお招きし、この 10 年間の歩みについてお話を伺います。



PROGRAM

2

3月12日はじまりのごはん～ハナシマショ

11:20 ~ 12:40

3.11 オモイデアーカイブの佐藤正実さんの進行で、震災発生翌日のある家庭のごはんの写真を見て題名を考え、名付けた理由を伝え合うワークショップです。それが呼水となり他の記憶も呼び起こされ、誰もが当時のことを振り返れます。震災そのものの話だと重くなりがちな雰囲気が、食べ物を切り口にするとほのぼのとしたものになります。



PROGRAM

3

災害エスノグラフィーが示す防災の未来

13:40 ~ 14:25

2017 年から、常葉大学大学院の重川希志依教授、田中聰教授、東北大 学災害科学国際研究所の佐藤翔輔准教授、Team Sendai による共同研究により、災害対応業務を経験した仙台市職員へのエスノグラフィー調査を実施してきました。4 年半* にわたる共同研究の成果について報告を伺います。 *2018 年から 3 年間は仙台市参加



PROGRAM

4

本人語り～前仙台市長：奥山恵美子氏

14:40 ~ 15:40

仙台市長として、災害対応の陣頭指揮を執ってきた奥山恵美子氏。2017 年 8 月に退任するまでの 8 年間のうち 6 年半を災害対応に務め、そこから得た知見や教訓を国内外に発信して来られました。このプログラムでは、当時の貴重な体験をお話しいただくとともに、時間の半分を質疑応答とし、参加者と奥山さんの双方向での対話を深め合います。



PROGRAM

5

フェーズフリー・ワークショップ

15:55 ~ 17:15

フェーズフリーは、平常時と非常時の壁を取り払う備え方のこと。家庭をはじめ、教育や公共サービス、ビジネスなど、幅広い分野での活用が広がっています。当日は、提唱者でフェーズフリー協会代表理事の佐藤唯行氏にお話を伺います。また、仙台の事例紹介や、身近にあるフェーズフリーな「モノ」や「コト」を探し出すワークショップも行います。

